



Web での Cisco IP Phone のカスタマイズ





Contents

スタートアップ ガイド	1
ユーザオプション Web ページへのアクセス	2
ユーザオプション Web ページのナビゲートに関するヒント	4
電話機の機能と設定のカスタマイズ	5
電話サービスのカスタマイズ	7
Web によるサービスへの登録方法	8
設定済みのサービスのカスタマイズ方法と使用方法	10
個人アドレス帳の使用方法	10
Cisco IP Phone Address Book Synchronizer の適用	12
ファースト ダイヤルの使用方法	14
エクステンション モビリティの使用方法	16
Cisco Web Dialer の使用方法	18
索引	



スタートアップガイド

Cisco IP Phone は、社内のコンピュータなど、他のネットワーク デバイスと情報を共有することのできるネットワーク デバイスです。このマニュアルでは、[Cisco CallManager ユーザオプション] Web ページを使用して電話機の機能や設定を制御する方法、および電話サービスの設定やカスタマイズを行う方法について説明します。



(注) このマニュアルでは、特定の Cisco IP Phone で利用可能な機能、設定、およびサービスについて説明しています。機能、設定、およびサービスの利用について不明点がある場合は、システム管理者に確認してください。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- ユーザオプション Web ページへのアクセス (P.2)
- ユーザオプション Web ページのナビゲートに関するヒント (P.4)

また、後続の項では、次のトピックについて取り上げます。

- 電話機の機能と設定のカスタマイズ (P.5)
- 電話サービスのカスタマイズ (P.7)

ユーザオプション Web ページへのアクセス

Cisco IP Phone を使用する場合、個人用に設定されたユーザオプション Web ページにアクセスするには、次の手順を実行します。



(注) Cisco IP Communicator (ソフトウェアベースの電話機) を使用する場合は、電話機インターフェイスを右クリックし、表示されるメニューから [Cisco ユーザオプション] を選択すると、ユーザオプション Web ページにアクセスできます。

手順

ステップ 1 ユーザオプションの URL、ユーザ ID、およびデフォルトのパスワードをシステム管理者から入手します。その URL を開き、ログインします。

ステップ 2 URL を入力した後に、[セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示され、[はい] または [証明書の表示] > [証明書のインストール] を選択するように要求されることがあります。このダイアログボックスが表示されない場合は、ステップ 3 に進みます。

- [はい] をクリックすると、ユーザオプション Web ページにログインするたびに [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されません (証明書をインストールするまで)。
- [証明書の表示] > [証明書のインストール] をクリックし、そのページの指示に従うと、ユーザオプション Web ページにログインするたびに [セキュリティの警告] ダイアログボックスが表示されなくなります。証明書のインストールについて不明点がある場合は、システム管理者に確認してください。



(注) ステップ 2 は、Internet Explorer ユーザに対する [セキュリティの警告] ダイアログボックスの表示方法を示しています。Netscape Navigator を使用する場合は、表示方法が異なります。

ステップ 3 デバイスを選択するドロップダウン リストから、デバイス タイプ (電話機のモデル) またはデバイス プロファイル (エクステンション モビリティ ユーザ デバイス プロファイル) を選択します。



(注) エクステンション モビリティ ユーザ デバイス プロファイルは、通常は「EM」で始まります。詳細については、P.16 の「エクステンション モビリティの使用方法」を参照してください。この機能を使用するかどうかについては、システム管理者から指示があります。

選択したデバイス タイプまたはデバイス プロファイルに対応したオプションがコンテキスト メニューに表示されます。

ステップ 4 電話機または電話サービスをカスタマイズするために、いずれかのメイン メニュー オプションをクリックします。



(注) メニューに表示されるオプションは、システム管理者が電話機を設定した内容によって異なります。メニュー オプションについて不明点がある場合は、システム管理者に確認してください。

目的	操作
すべてのコールを別の番号に 転送 する	P.5の「別の電話機にコールを転送する」を参照してください。
短縮ダイヤル を追加または更新する	P.5の「短縮ダイヤルを設定する」を参照してください。
Cisco IP Phone サービス を追加または更新する	P.8の「サービスに登録する」を参照してください。
Cisco 個人アドレス帳 を設定する	P.6の「個人アドレス帳を設定する」を参照してください。
電話機の メッセージ受信のランプ ポリシーを変更する	P.5の「受話器のボイスメッセージランプの機能を変更する」を参照してください。
電話機、デバイス プロファイル、またはユーザオプション Web ページの ロケール を変更する	P.5の「ユーザオプション Web ページや電話機の言語を変更する」を参照してください。
パスワード を変更する	P.6の「パスワードを変更する」を参照してください。
PIN を変更する	P.6の「PIN を変更する」を参照してください。

ユーザオプション Web ページのナビゲートに関するヒント

ユーザオプション Web ページをナビゲートするには、次のヒントを参考にしてください。

- オプションをすべて表示するには、メニュー ページでデバイスまたはプロファイルを選択します。
- 変更内容を適用して保存するには、[**更新**] をクリックします。
- コンテキストメニューに戻るには、[**メニューに戻る**] をクリックします。
- ユーザオプション Web ページを終了するには、[**ログオフ**] をクリックします。
- Cisco IP Phone のガイドを表示するには、[**ユーザガイド**] をクリックします。

電話機の機能と設定のカスタマイズ

次に示す電話機の機能と設定をユーザオプション Web ページからカスタマイズおよび制御できます (ログイン方法については、P.2の「ユーザオプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。



(注) この項では、特定の Cisco IP Phone で利用可能な機能および設定について説明しています。電話機の機能や設定について不明点がある場合は、システム管理者に確認してください。

目的	デバイスまたはプロフィールを選択した後の操作
ユーザオプション Web ページや電話機の言語を変更する	ユーザオプション Web ページの言語を現在のセッションの間だけ変更する場合は、各ページの下部にある [ページの表示] ドロップダウン リストを使用します。 永続的に変更する場合は、[メニュー] > [この電話のロケールを変更] の順に選択し、ユーザオプション Web ページや電話機の新しいデフォルトの言語を選択します。
受話器のボイスメッセージランプの機能を変更する	[メニュー] > [電話のメッセージ受信のランプポリシーを変更] の順に選択し、電話回線を選択します。ドロップダウン リストからオプションを選択します。通常、デフォルトのシステム ポリシーでは、新しいボイスメッセージを受信したときに電話機は「常に点灯」します。
別の電話機にコールを転送する	[メニュー] > [すべてのコールを別の番号に転送] の順に選択し、回線のチェックボックスをオンにします。ボイス メッセージまたは別の番号にコールをリダイレクトできます。番号を指定する場合は、必要に応じて「9」や「1」などのアクセスコードや地域コードを含め、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。
別の電話機へのコールの転送をキャンセルする	[メニュー] > [すべてのコールを別の番号に転送] の順に選択し、回線のチェックボックスをオフにします (回線のチェックボックスをクリックしてチェックマークを消します)。自分の電話機またはユーザオプション Web ページからコール転送をキャンセルできます。
短縮ダイヤルを設定する	[メニュー] > [短縮ダイヤルの追加または更新] の順に選択し、使用可能な短縮ダイヤル ボタンごとに番号とラベルを入力します。回線またはサービスに使用していないボタンが使用可能です。

目的	デバイスまたはプロフィールを選択した後の操作
プログラマブルボタンにサービスを追加する	<p>電話機のプログラマブル ボタンにサービス URL を割り当てると、ワンタッチ操作で電話サービス（天気予報、株式相場、ファーストダイヤルなどのサービス）にアクセスできます。</p> <p>最初に、サービス URL ボタンが電話機に設定されていることをシステム管理者に確認します。</p> <p>次に、[メニュー]>[サービス URL ボタンの追加または更新]の順に選択します。</p> <p>電話機に追加するサービスを[使用可能なサービス]ドロップダウンリストから選択し、[更新]をクリックします。</p>
回線ごとに呼び出し音のパターン（点滅のみ、一度だけ鳴らす、ピープ音のみなど）を変更する	[メニュー]>[電話の呼び出し音設定を変更]の順に選択し、そのページの指示に従います。
すばやくダイヤルできるように電話機で利用可能な固定短縮ダイヤルのインデックスを作成する	<p>[メニュー]>[短縮ダイヤルの追加または更新]の順に選択します。[電話機のボタンに割り当てられていない短縮ダイヤル設定]で番号とラベルを入力します。</p> <p>番号は、自分の電話機からダイヤルする場合とまったく同じように入力します。たとえば、「9」などのアクセスコードや地域コードも含めます。[更新]をクリックします。</p>
PIN を変更する	[メニュー]>[PIN の変更]の順に選択します。PIN は、電話機でエクステンション モビリティなどのサービスにログインするために入力するコードです。
パスワードを変更する	[メニュー]>[パスワードの変更]の順に選択します。パスワードは、ユーザオプション Web ページにログインするために入力するコードです。
個人アドレス帳を設定する	[メニュー]>[Cisco 個人アドレス帳の設定]の順に選択します。最初にサービスへの登録を行う必要があります。P.8の「Web によるサービスへの登録方法」を参照してください。



ヒント

エクステンション モビリティを使用する場合、ユーザオプション Web ページで行った変更は、電話機でエクステンション モビリティ サービスに次回ログインしたときに有効になります。

電話サービスのカスタマイズ

ユーザオプション Web ページから、電話サービスへの登録と電話サービスのカスタマイズを行うことができます。

サービスの内容は次のとおりです。

- Web ベースの情報（株式相場、映画情報、気象情報など）
- ネットワーク データ（社内カレンダー、検索可能なディレクトリなど）
- 電話サービス（ファースト ダイアル、個人アドレス帳など）

オプション サービスを利用するために必要な最初のステップは、Web でそのサービスに登録することです。次のステップはサービスを設定することです。サービスへの登録が完了したら、電話機でサービスを表示して変更することができます。電話機からサービスにアクセスするには、電話機のモデルに応じて、サービス ボタンを押すか、または [メニュー] > [サービス] の順に選択します。

この項では、次のトピックについて取り上げます。

- Web によるサービスへの登録方法（P.8）
- 設定済みのサービスのカスタマイズ方法と使用方法（P.10）

Web によるサービスへの登録方法

次の表は、ログインしてデバイスまたはプロフィールを選択した後にユーザオプション Web ページでサービスに登録する方法について説明しています（ログイン方法については、P.2 の「ユーザオプション Web ページへのアクセス」を参照してください）。



- (注)
- エクステンション モビリティなど、いくつかのサービスは必須であるため、ユーザではなくシステム管理者が設定します。
 - この項では、特定の Cisco IP Phone で利用可能なサービスについて説明しています。電話サービスの利用について不明点がある場合は、システム管理者に確認してください。

目的	ログインしてデバイス タイプまたはプロフィールを選択した後の操作
サービスに登録する	[メインメニュー] > [Cisco IP Phone サービスの設定] の順に選択します。 [使用可能なサービス] ドロップダウン リストからサービスを選択し、[続行] をクリックします。指示に従って情報（郵便番号や PIN など）を入力し、[登録] をクリックします。
登録を変更または解除する	[メインメニュー] > [Cisco IP Phone サービスの設定] の順に選択します。 [登録されているサービス] パネルのサービスをクリックして登録内容を変更します。[更新] または [登録解除] をクリックします。
電話機からサービスにアクセスする	設定済みのサービスを表示するには、電話機で サービス ボタンを押すか、または [メニュー] > [サービス] の順に選択します。あるいは、プログラマブル ボタンにサービスを割り当てた場合は、プログラマブル ボタンを押します。
個人アドレス帳サービスのカスタマイズおよび使用	P.10 の「個人アドレス帳の使用方法」を参照してください。
ファースト ダイヤルサービスのカスタマイズおよび使用	P.14 の「ファースト ダイヤルの使用方法」を参照してください。
エクステンション モビリティサービスのカスタマイズおよび使用	P.16 の「エクステンション モビリティの使用方法」を参照してください。
Web Dialer 機能のカスタマイズおよび使用	P.18 の「Cisco Web Dialer の使用方法」を参照してください。



ヒント

- エクステンション モビリティを使用する場合、ユーザオプション Web ページで行った変更は、電話機でエクステンション モビリティ サービスに次回ログインしたときに有効になります。
 - ワンタッチ操作で [ファースト ダイヤル] メニューにアクセスするには、使用可能なプログラマブル ボタンにファースト ダイヤル サービスを割り当てます。
 - 同じサービスに複数回登録して、同じサービスの各インスタンスに固有の名前を付けることができます。たとえば、複数の地域について天気予報サービスに登録する場合、サービスの地域ごとに異なる名前を付けることができます。
-

設定済みのサービスのカスタマイズ方法と使用方法

電話サービスを設定できたら、自分のコンピュータや電話機から電話サービスをカスタマイズしたり使用したりすることができます。各サービスは操作手順が異なるので、電話機に設定したサービスについて説明している項を参照して、そのサービスのカスタマイズ方法と使用方法を確認してください。

サービスの設定方法については、P.8の「Webによるサービスへの登録方法」を参照してください。

特定のサービスのカスタマイズ手順と使用手順については、次のトピックで説明しています。

- 個人アドレス帳の使用方法 (P.10)
- ファーストダイヤルの使用方法 (P.14)
- エクステンション モビリティの使用方法 (P.16)
- Cisco Web Dialer の使用方法 (P.18)

個人アドレス帳の使用方法

個人アドレス帳サービスを使用すると、社内外の人々の名前と電話番号を保存できます。また、個人アドレス帳のエントリにファーストダイヤルコードを割り当て、それを電話番号の代わりにダイヤルすることもできます。

Cisco IP Phone から、個人アドレス帳サービスを使用してエントリを検索し、コールを発信できます。



(注) 電話機の個人アドレス帳サービスの正確な名前は、システム管理者がサービスを設定した方法によって異なる場合があります。

次の表は、個人アドレス帳サービスの使用方法について説明しています。

目的	操作
個人アドレス帳サービスに登録する	[メイン メニュー] > [Cisco IP Phone サービスの設定] の順に選択します。 [使用可能なサービス] ドロップダウン リストから [個人アドレス帳] を選択し、[続行] をクリックして [登録] をクリックします。
ユーザオプション Web ページから新しいエントリを作成する	ユーザオプション Web ページにアクセスします (手順については、P.2 の「ユーザオプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。このサービスに登録した後に、[メニュー] > [Cisco 個人アドレス帳の設定] の順に選択します。手動でエントリを追加するには、[新しいエントリの追加] をクリックします。Synchronizer アプリケーションを使用してエントリを追加するには、P.12 の「Synchronizer のインストール」を参照してください。
ユーザオプション Web ページからエントリを編集する	ユーザオプション Web ページにアクセスします (手順については、P.2 の「ユーザオプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。次に、[メニュー] > [Cisco 個人アドレス帳の設定] の順に選択します。名前のフィールドに部分的または完全な情報を入力し、[検索] をクリックします。検索結果から名前をクリックして完全なエントリを表示します。変更を加え、[更新] をクリックします。
電話機のエントリを編集する	[サービス] > My Address Book (サービスの名前は異なる場合があります) の順に選択します。キーパッドを使用して部分的または完全な名前を入力し、[サブミット] ソフトキーを押します。検索結果を 1 つ選択し、[編集] ソフトキーを押します。[名前] ソフトキーまたは [電話] ソフトキーを押して変更を加え、[サブミット] と OK を押します。
電話機のエントリからダイヤルする	[サービス] > My Address Book (サービスの名前は異なる場合があります) の順に選択します。キーパッドを使用して部分的または完全な名前を入力し、[サブミット] ソフトキーを押します。検索結果を 1 つ選択し、[ダイヤル] ソフトキーを押します。
ユーザオプション Web ページからエントリを削除する	ユーザオプション Web ページにアクセスします (手順については、P.2 の「ユーザオプション Web ページへのアクセス」を参照してください)。次に、[メニュー] > [Cisco 個人アドレス帳の設定] の順に選択します。名前のフィールドに部分的または完全な情報を入力し、[検索] をクリックします。削除するエントリの横にあるチェックボックスをクリックし、[選択項目の削除] をクリックします。

目的	操作
Microsoft のアドレス帳アプリケーションと同期させる	P.12 の「Cisco IP Phone Address Book Synchronizer の適用」を参照してください。
ファースト ダイヤルコードをエントリに割り当てる	P.14 の「ファースト ダイヤルの使用方法」を参照してください。

Cisco IP Phone Address Book Synchronizer の適用

このツールは、Microsoft Windows、Microsoft Outlook、または Microsoft Outlook Express のアドレス帳に保存されているデータを Cisco CallManager ディレクトリおよび個人アドレス帳サービスと同期させるために使用します。

インストールおよび設定については、次の手順を参照してください。

Synchronizer のインストール

ステップ 1 システム管理者から Cisco IP Phone Address Book Synchronizer のインストーラを入手します。

ステップ 2 システム管理者から入手した TabSyncInstall.exe ファイルをダブルクリックします。

Welcome to Cisco IP Phone Address Book Synchronizer ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 **Next** をクリックします。

License Agreement ウィンドウが表示されます。

ステップ 4 使用許諾契約の内容を読み、**Yes** をクリックして同意します。

Choose Destination Location ウィンドウが表示されます。

ステップ 5 アプリケーションをインストールするディレクトリを選択し、**Next** をクリックします。

Start Copying Files ウィンドウが表示されます。

ステップ 6 選択したディレクトリが正しいことを確認し、**Next** をクリックします。

インストール ウィザードによってアプリケーションがコンピュータにインストールされます。インストールが完了すると、InstallShield Wizard Complete ウィンドウが表示されません。

ステップ 7 **Finish** をクリックします。

ステップ 8 プロセスを完了するには、P.13 の「Synchronizer の設定」を参照してください。

Synchronizer の設定

ステップ 1 Cisco IP Phone Address Book Synchronizer を開きます。

デフォルトのインストール ディレクトリを受け入れた場合は、[**スタート**] > [**プログラム**] > **Cisco > IP Phone Address Synchronizer** の順に選択してアプリケーションを開くことができます。

ステップ 2 ユーザ情報を設定するために **Password** ボタンをクリックします。

Cisco IP Phone User ウィンドウが表示されます。

ステップ 3 Cisco IP Phone のユーザ名とパスワードを入力し、**OK** をクリックします。

ステップ 4 同期規則を設定するために **Rules Options** ボタンをクリックします。

ステップ 5 使用する同期方式を選択し、**OK** をクリックします。

ステップ 6 Cisco CallManager の情報を設定するために **CCM Server** ボタンをクリックします。

Configure Cisco CallManager Web Server ウィンドウが表示されます。

ステップ 7 Cisco CallManager の IP アドレスまたはホスト名を入力し、**OK** をクリックします。

これらの情報がわからない場合は、システム管理者に問い合わせてください。

ステップ 8 Password ボタンをクリックします。

Cisco IP Phone User ウィンドウが表示されます。

ステップ 9 Cisco IP Phone User Options アプリケーションのユーザ ID とパスワードを入力します。

ステップ 10 ディレクトリの同期プロセスを開始するために **Synchronize** ボタンをクリックします。

Synchronization Status ウィンドウには、アドレス帳の同期のステータスに関する情報が表示されます。重複エントリ規則としてユーザが判断する方法を選択した場合にアドレス帳エントリが重複しているときは、Duplicate Selection ウィンドウが表示されます。個人アドレス帳に含めるエントリを選択し、**OK** をクリックします。

ステップ 11 同期が完了したら、**Exit** をクリックして Cisco IP Phone Address Book Synchronizer を閉じます。

ファースト ダイヤルの使用方法

ファースト ダイヤル コードは 1 桁または 2 桁のインデックス コード (1 ~ 99) であり、電話番号またはアドレス帳エントリに割り当てることができます。ファースト ダイヤル コードを使用してコールを発信するには、電話機のタッチスクリーンのメニューからファースト ダイヤル インデックス コードを選択します。完全な番号をダイヤルする必要がありません。



(注) 電話機のファースト ダイヤル サービスの正確な名前は、システム管理者がサービスを設定した方法によって異なる場合があります。

次の表は、ファースト ダイヤル コードの設定方法と使用方法について説明しています。

目的	操作
ファースト ダイヤル サービスに登録する	<p>ユーザオプション Web ページにアクセスします（手順については、P.2 の「ユーザオプション Web ページへのアクセス」を参照してください）。次に、[メインメニュー]>[Cisco IP Phone サービスの設定]の順に選択します。[使用可能なサービス]ドロップダウン リストから[ファーストダイヤル]を選択し、[続行]をクリックして[登録]をクリックします。</p>
ユーザオプション Web ページからファーストダイヤルコードを割り当てる	<p>[メニュー]>[Cisco 個人アドレス帳の設定]の順に選択し、[ファーストダイヤル]およびインデックスコード(1 ~ 99)をクリックします。[ファーストダイヤルのエントリ]ポップアップウィンドウで、次のどちらかを実行します。</p> <p>[個人アドレス帳のエントリ]をクリックしてファーストダイヤルコードを既存のエントリに割り当てる。ドロップダウンメニューからエントリと電話番号を選択します。</p> <p>[電話番号を入力してください。]をクリックしてファーストダイヤルコードを電話番号に割り当てる。個人アドレス帳は使用しません。</p>
電話機でファーストダイヤルコードを割り当てる（アドレス帳を使用する）	<p>[サービス]>My Address Book（サービスの名前は異なる場合があります）の順に選択します。名前を入力し、[サブミット]ソフトキーを押します。検索結果を1つ選択し、[ファーストダイヤル]ソフトキーを押します。電話番号（自宅、職場、または携帯電話）を選択してから、ファーストダイヤルインデックスコードを選択します。これは、電話番号の代わりにダイヤルする番号です。OKを押します。</p>
電話機でファーストダイヤルコードを割り当てる（アドレス帳を使用しない）	<p>[サービス]>My Fast Dials（サービスの名前は異なる場合があります）の順に選択します。Assignソフトキーを押し、ファーストダイヤルインデックスコード(1 ~ 99)を選択します。これは、電話番号の代わりにダイヤルする番号です。このインデックスコードに割り当てる電話番号を入力し、[サブミット]とOKを押します。</p>
電話機でファーストダイヤルコールを発信する	<p>[サービス]>My Fast Dials（サービスの名前は異なる場合があります）の順に選択します。ダイヤルするには、次のいずれかが1つを実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • キーパッドを使用してファーストダイヤルインデックスコードを入力する。 • ナビゲーション ボタンを使用してコードを強調表示し、[ダイヤル]ソフトキーを押す。 • 電話機にタッチスクリーンが付いている場合は、コールするファーストダイヤルをタッチスクリーンで押します。

目的	操作
電話機でファーストダイヤルを削除する	[サービス] > My Fast Dials (サービスの名前は異なる場合があります) の順に選択します。ナビゲーション ボタンを使用してコードを強調表示し、 Remove ソフトキーを押します。[選択] と OK を押します。
ユーザオプション Web ページからファーストダイヤルを削除する	[メニュー] > [Cisco 個人アドレス帳の設定] の順に選択し、[ファーストダイヤル] をクリックします。削除するエントリの横にあるチェックボックスをクリックし、[選択項目の削除] をクリックします。



ヒント

- よりすばやく [ファーストダイヤル] メニューにアクセスするには、電話機で使用可能なプログラマブル ボタンにファーストダイヤル サービスを割り当てます。
- 短縮ダイヤル機能とは異なり、ファーストダイヤルは電話機で使用可能な回線ボタンの数に制限されません。最大 99 のファーストダイヤルを作成できます。

エクステンション モビリティの使用方法

エクステンション モビリティ機能を使用すると、ユーザはログインすることにより Cisco IP Phone を一時的に自分の電話機として設定できます。ログインした後、その電話機には、回線 (電話番号)、機能 (たとえば短縮ダイヤル)、設定済みのサービスなどを含む自分のデバイス ユーザ「プロファイル」が適用されます。エクステンション モビリティは、仕事の関係で社内での移動が多い場合や共有の電話機を利用している場合に便利です。

個人アドレス帳サービスやファーストダイヤル サービスとは異なり、エクステンション モビリティ サービスでは登録の必要がありません。このサービスは、ユーザではなくシステム管理者が設定します。



- (注) 電話機のサービス メニューに表示される EM ログイン サービスの名前は異なる場合があります。正確な名前はシステム管理者が決定します。

電話機のユーザに対してエクステンション モビリティが設定されるシナリオとしては、次に示す 2 つの一般的なシナリオがあります。エクステンション モビリティを使用する場合、これらのカテゴリのうちどちらか 1 つ (両方ではない) が当てはまると考えられます。どちらの場合でも、ユーザオプション Web ページからエクステンション モビリティをカスタマイズできます。

- エクステンション モビリティ サービスにログインした場合に限り、自分の内線番号やカスタマイズされた機能の設定（短縮ダイヤルなど）を適用する電話機を 1 台以上持っている。電話機や仕事を共有する場合もある。
- 自分の内線番号やカスタマイズされた機能の設定（短縮ダイヤルなど）を継続的に表示する電話機を 1 台持っており、その電話機でエクステンション モビリティ サービスにログインする必要がない。また、エクステンション モビリティ を使用してその電話機にログインできる人がほかにいない。ただし、エクステンション モビリティ を使用して社内の他の電話機にログインすることはできない。移動中や自分の席から離れているときには、このサービスを使用することもある。

次の表は、エクステンション モビリティ の使用方法について説明しています。

目的	操作
エクステンション モビリティ サービスに登録する	このサービスは、ユーザではなくシステム管理者が設定します。
電話機でエクステンション モビリティ にログインする	[サービス] > EM Login （正確な名前は異なる場合があります）の順に選択します。プロンプトが表示されたら、 デバイス プロファイル を選択します。ユーザ ID と PIN を入力します（ユーザ ID とデフォルトの PIN はシステム管理者から提供されます）。
電話機でエクステンション モビリティ からログオフする	[サービス] > EM Log out （正確な名前は異なる場合があります）の順に選択します。電話機に「Do you want to log out <your UserID>?」と表示されます。Yes を選択します。
PIN を変更する	ユーザオプション Web ページにログインし、 [メニュー] > [PIN の変更] の順に選択します。PIN は、エクステンション モビリティ などのサービスにログインするために入力するコードです。 PIN を変更すると、PIN を必要とするサービス（個人アドレス帳やファーストダイヤルなど）が影響を受けます。PIN を変更した場合、これらのサービスは、使用する前に更新する必要があります。
エクステンション モビリティ プロファイルに関連付けられた設定、機能、およびサービスを変更する	ユーザオプション Web ページにログインし、エクステンション モビリティ プロファイルを選択します。表示されたエクステンション モビリティ プロファイル固有のオプションメニューで、設定、機能、およびサービスに対して任意の変更を加えます。たとえば、短縮ダイヤルを設定します（ログイン方法については、P.2 の「ユーザオプション Web ページへのアクセス」を参照してください）。

目的	操作
エクステンション モビリティ プロファイルを Cisco IP Phone に適用する	電話機でエクステンション モビリティ サービスにログインします。エクステンション モビリティ プロファイルに設定されている内線番号とすべての設定、機能、サービスは、ログイン後にその電話機に適用されます。電話機でエクステンション モビリティにログインしている間に、エクステンション モビリティ プロファイルに変更を加えた場合は、いったんログオフしてから再度ログインし、電話機で変更を確認する必要があります。



ヒント


- ユーザオプション Web ページで行った変更は、電話機でエクステンション モビリティ サービスに次回ログインしたときに有効になります。
- 電話機だけで制御される設定（コントラストや音量など）は、エクステンション モビリティ プロファイルには保持されません。
- エクステンション モビリティは、一定の時間が経過すると自動的にユーザをログアウトします。この時間制限は、システム管理者が設定します。
- 一度に 1 台の電話機にしかログインできません。別の電話機を使用する場合は、最初の電話機からログオフする必要があります。
- エクステンション モビリティを使用してログインまたはログアウトすると、コールバック機能に関連付けられたアクティブ コールの完了は自動的にキャンセルされます。
- コールバックをアクティブにした場合に転送先の電話機がシステムから削除されていると、[ダイヤル] を押すか受話器を取り上げたときに速いビジー音が聞こえることがあります。このような場合は、最初のコールバック要求をキャンセルするか、またはその電話機へのコールバックの再開を試行します。

Cisco Web Dialer の使用方法

Cisco Web Dialer を使用すると、社内ディレクトリにリンクした電話番号をクリックすることにより Web からコールを発信できます。

Web Dialer へのログインに使用するユーザ ID とパスワードは、ユーザオプション Web ページへのアクセスに使用するユーザ ID とパスワードと同じです。エクステンション モビリティと同様に、Web Dialer の場合も登録の必要がありません。この機能は、ユーザではなくシステム管理者が設定します。エクステンション モビリティなどのサービスとは異なり、Web Dialer はユーザオプション Web ページのサービスのリストには表示されません。

次の表は、Web Dialer の使用方法について説明しています。

目的	操作
Web Dialer に登録する	この機能は、ユーザではなくシステム管理者が設定します。
初めて社内ディレクトリの Web ページからダイヤルする	<p>Web Dialer への最初のログインが成功すると、[初期設定] ダイアログ Web ページが開きます。</p> <p>コールに使用するデバイス (Cisco IP Phone など) を選択するか、またはエクステンション モビリティのオプションを選択します。コールに使用する回線と言語を選択します。</p> <p> (注) エクステンション モビリティ ユーザ デバイス プロファイルは、通常は「EM」で始まります。詳細については、P.16 の「エクステンション モビリティの使用法」を参照してください。エクステンション モビリティを使用するかどうかについては、システム管理者から指示があります。</p>
社内ディレクトリの Web ページからダイヤルする	Web ブラウザを起動して、社内ディレクトリのページへ移動します。ユーザ ID とパスワードを入力します (社内ディレクトリの URL、ユーザ ID、およびパスワードは、システム管理者から入手できます)。コールを発信するには、ディレクトリの番号をクリックして [ダイヤル] をクリックします。コールを終了するには、[コールの終了] をクリックします。あるいは、Cisco IP Phone から切断することもできます。
自動ダイヤルを設定する	番号に自動的に接続して、[コールの開始] ダイアログ Web ページを表示しないようにするには、[コールの確認ダイアログを表示しない] チェックボックスをオンにします。
設定を変更する	[コールの開始] ダイアログ Web ページで、[初期設定] をクリックし、設定を変更します。
Web Dialer からログアウトする	[コールの開始] ダイアログ Web ページで、[WebDialer からログアウトする] をクリックします。



Index

P

PIN の変更 6

W

Web Dialer

設定 19

え

エクステンション モビリティ

PIN の変更 17

ログアウト 17

ログイン 17

け

言語

電話機のディスプレイに対する変更 5

ユーザオプション Web ページに対する変更
5

こ

コールの転送

キャンセル 5

別の電話機への 5

個人アドレス帳

Synchronizer のインストール 12

使用方法 10

設定 6

登録 11

さ

サービス

登録 8

変更または解除 8

た

短縮ダイヤル

固定短縮ダイヤルの作成 6

サービスの割り当て 6

設定 5

は

パスワードの変更 6

ふ

ファースト ダイヤル

登録 15, 17

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

CCSP、Cisco Square Bridge のロゴ、Cisco Unity、Follow Me Browsing、FormShare、および StackWise は、Cisco Systems, Inc. の商標です。Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn および iQuick Study は、Cisco Systems, Inc. のサービスマークです。Aironet、ASIST、BPX、Catalyst、CCDA、CCDP、CCIE、CCIP、CCNA、CCNP、Cisco、Cisco Certified Internetwork Expert のロゴ、Cisco IOS、Cisco Press、Cisco Systems、Cisco Systems Capital、Cisco Systems のロゴ、Empowering the Internet Generation、Enterprise/Solver、EtherChannel、EtherFast、EtherSwitch、Fast Step、GigaDrive、GigaStack、HomeLink、Internet Quotient、IOS、IP/TV、iQ Expertise、iQ のロゴ、iQ Net Readiness Scorecard、LightStream、Linksys、MeetingPlace、MGX、Networkers のロゴ、Networking Academy、Network Registrar、*Packet*、PIX、Post-Routing、Pre-Routing、ProConnect、RateMUX、Registrar、ScriptShare、SlideCast、SMARTnet、StrataView Plus、SwitchProbe、TeleRouter、The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient、TransPath、および VCO は、米国および一部の国における Cisco Systems, Inc. とその関連会社の登録商標です。

このマニュアルおよび Web サイトで言及されているその他の商標はすべて、それぞれの所有者のもです。「パートナー」という語の使用は、シスコと他社の提携関係を意味するものではありません。(0406R)

Copyright © 2004, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。



シスコシステムズ株式会社

URL:<http://www.cisco.com/jp/>

問合せ URL:<http://www.cisco.com/jp/service/contactcenter/>

〒 107-0052 東京都港区赤坂 2-14-27 国際新赤坂ビル東館

TEL.03-5549-6500 FAX.03-5549-6501